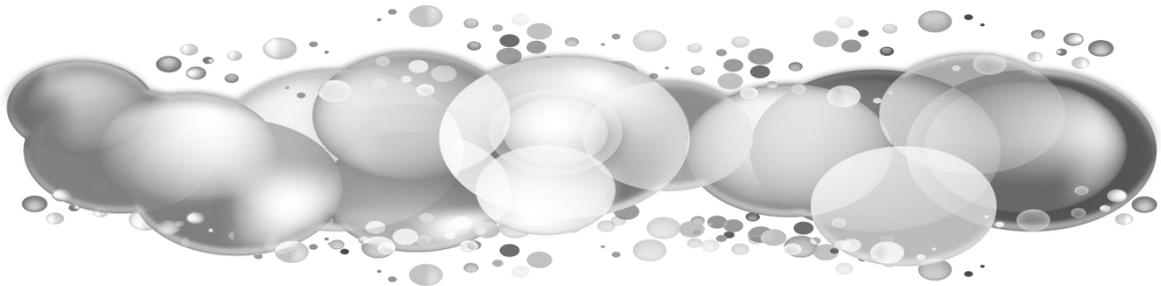


第1回

ひと☆まち 児童館フォーラム in 仙台

～子どもの育つ遊びの力・遊びの魅力～



とき 平成29年2月26日(日)13:00～17:00

ところ 仙台市戦災復興記念館

主催 公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団

協力 一般財団法人 児童健全育成推進財団

フォーラムの概要

1 開催趣旨

少子化がますます進む一方で、放課後児童クラブの登録数が増加しています。また、地域毎に若干の違いはあるものの高齢化が進む中であって、それぞれの地域の子どもの育つ環境は短い期間でどんどん変化しています。このような時代の流れの中で、児童館の目的や基本機能が忘れられがちになることもあります。

だからこそ、児童館職員が中心となって今後の児童を取り巻く地域環境を展望しつつ、地域の関係者や学校関係者と共に児童館の基本に立ちかえることが必要です。児童館職員をはじめ、関係者が児童館の目的や基本的な機能を理解したうえで、今後の健全育成を検討することを目的に、児童館職員による主体的な自己研鑽の機会に発展することを期待しつつ開催いたします。

2 後 援

仙台市, 仙台市教育委員会, 仙台市 PTA 協議会, 仙台市私立幼稚園連合会, 河北新報社
朝日新聞仙台総局, 読売新聞東北総局, 毎日新聞仙台支局, 産経新聞社東北総局
共同通信社仙台支社, 時事通信社仙台支社, NHK 仙台放送局, TBC 東北放送, 仙台放送
ミヤギテレビ, KHB 東日本放送

3 日 程

時 間	全体会・分科会	会 場
12:15 ~ 12:57	全体会・特別講演受付	5階 会議室
13:00 ~ 14:30	全体会・特別講演	
14:15 ~	分科会受付	第1分科会 4階 第1会議室 第2分科会 4階 第2会議室
14:45 ~ 16:00	分科会	第3分科会 4階 第4会議室 第4分科会 4階 研修室
16:15 ~ 17:00	全体会・分科会報告	5階 会議室
17:00 ~	参加者交流会受付	2階 レストラン
17:30 ~ 18:45	参加者交流会	

※ 全体会・特別講演・分科会・分科会報告・参加者交流会は全て事前の申し込みが必要です。

※ 全体会参加者は分科会も併せて受け付けます。分科会からの参加者は分科会会場で受け付けます。

※ 分科会報告だけの受け付けはありません。分科会報告参加者は速やかに移動してください。

■ 全体会・特別講演 13:00～14:30 5階 会議室

1 開 会

2 あいさつ 公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団 理事長 山内 晃

3 講師紹介

4 特別講演

「子どもの育つ遊びの力・遊びの魅力」

一般財団法人 児童健全育成推進財団 事務局長 依田 秀任 氏

子ども達の成長には遊びと学習が不可欠です。学習による知恵の獲得と遊びによる知恵の獲得は車の両輪にもたとえられる関係にあります。ともすると大人は学習を優先して考える傾向にあります。また、大人は遊びを息抜きに過ぎないと考えがちです。子どもと遊びについて、人を育てる遊びの魅力についての大人の理解を促します。

【依田秀任 氏 プロフィール】

京都市生まれ。児童館や放課後児童クラブ、保育園等の勤務を経て、児童健全育成推進財団(前 全国児童館連合会)に奉職。健全育成活動の普及・啓発を主として、職員研修や大学講義、地域での講演やイベントに出向いている。

<主な活動>

民間児童館ネットワーク 事務局長

全国児童厚生員研究協議会 コーディネーター

関西学院聖和短期大学(兵庫県西宮市)非常勤講師 2005年～

仁愛大学(福井県)非常勤講師 2011年～

■ 分科会 14:45～16:00 4階 各会議室

◆ 第1分科会 「遊びで変わる・遊びで育つ」

会場:4階 第1会議室

<講師>

東京都八王子市立中野児童館 児童館長 井垣利朗氏

(児童健全育成推進財団認定 児童健全育成指導士)

<メンバー>

木町通児童館 児童厚生員 齊藤寿一郎

(児童健全育成推進財団認定 児童厚生一級特別指導員)

☆願い☆ 子ども達には「自分らしく成長し、大人になって幸せに過ごしたい。」という願いがあります。

★内容★ 遊びから得られる知恵があること、遊びで何かが変わることを体験するワークショップです。体験を通して、遊びと児童健全育成の関係についての気づきを促します。

【井垣利朗氏 プロフィール】

平成3年に八王子市役所に入庁。以来、児童館・放課後児童クラブの職員として勤務。現在、中野児童館児童館長。日本レクリエーション協会レクインストラクター・余暇開発士として公私で遊びのイベント提供やボランティア活動を行っている。

<主な活動>

秋草学園短期大学非常勤講師。東京都放課後児童支援員研修講師。東京都子育て支援員研修講師。

『児童館論』中高生世代の対応について執筆(児童健全育成推進財団発行)

◆ 第2分科会 「要支援児と遊び」

会場:4階 第2会議室

<ゲスト>

宮城学院女子大学

教授 足立 智昭 氏(臨床発達心理士)

<ゲスト>

仙台市障害者総合支援センター

主幹 只 埜 弓 美 氏(保健師)

<ホスト>

(公財)仙台ひと・まち交流財団子ども育成課 課長 後 藤 敬 二

☆願 い☆ 障害のある子もない子も「普通にみんなと同じ事をしたい。」という願いがあります。

★内 容★ インクルージョンの理念に沿った支援をどのような仕組みの中で考えればよいのかについて、また、現在実施しているスーパーバイザー巡回や ICF シートを用いた定例レビューの今後の展開について検討します。

【足立智昭 氏 プロフィール】

宮城学院女子大学教育学部教授。教育学博士。発達臨床心理学専攻。

<主な活動>

ライオンズクラブ心の復興プロジェクト「震災復興心理・教育臨床センター」代表

宮城県次世代育成支援対策地域協議会会長

宮城県子ども・子育て会議委員会会長

病児と家族を支援する NPO「ワンダーポケット」理事

【只埜弓美 氏 プロフィール】

昭和 62 年、仙台市に保健師として採用され、仙台市内各保健所他で保健師業務に従事する。北部アーチル乳幼児支援係長・南部アーチル乳幼児支援係長・仙台市青葉保健所障害者支援係長を経て現職。

◆ 第3分科会 「中学生とのかかわり・児童館のできること」

会場:4階 第4会議室

<ゲスト>

仙台市立八軒中学校

校長 石川 一博 氏

<ホスト>

大沢児童館・市民センター

館長 佐藤 正道

<メンバー>

川平マイスクール児童館

主任 今野 明美

(児童健全育成推進財団認定 児童厚生一級特別指導員)

☆願 い☆ 中学生にも「地域社会に参加して一人前と認められたい。」という願いがあります。

★内 容★ 中学生は地域社会に参加できているのだろうか？地域は中学生を地域の一員として受け入れているのだろうか？現状を探りながら、中学生と地域との関係のあり方について検討し、中学生と地域の関係づくりについて、児童館ができることを検討します。

【石川一博 氏 プロフィール】

登米市出身。担当教科は保健体育。県北、仙台市内の中学校教諭を経て、平成 21・22 年度仙台市教育委員会学校教育部教育指導課指導主事。東日本大震災後の平成 23 年度仙台市立広瀬中学校教頭と仙台市・宮城県・東北中学校体育連盟理事長を兼務。平成 25～27 年度仙台市教育委員会学校教育部学びの連携推進室主任指導主事として、小学校と中学校の連携、学校と地域との連携を担当。平成 28 年度から現職。

◆ 第4分科会 「児童館の遊び・児童クラブの遊び」

会場: 4階 研修室

<アドバイザー>

一般財団法人 児童健全育成推進財団 事務局長 依田 秀任 氏

<メンバー>

虹の丘児童センター	主任	渡邊 由貴 (児童健全育成推進財団認定 児童厚生一級特別指導員)
中野栄児童館	主任	菅原 広美 (児童健全育成推進財団認定 児童厚生一級指導員)
館児童センター	児童厚生員	狩野 裕子 (児童健全育成推進財団認定 児童厚生二級指導員)

☆願 い☆ 自由来館児童には「児童館で思いっきり遊びたい。」という願いがあります。
児童クラブの児童は、この願いに加えて「児童館で安心して過ごしたい。」という願いがあります。

★内 容★ 自由来館児童と放課後児童クラブ児童では、児童館に対する期待や願いが異なります。この違いを児童館運営にどう反映すべきかについて、「遊び」を切り口に、児童館職員が特別講演をいただく依田氏にアドバイスをいただきながら考えます。

■ 全体会・分科会報告 16:15~17:00 5階 会議室

1 開 会

2 分科会報告

第1分科会 木町通児童館 児童厚生員 齊藤寿一郎
第2分科会 (公財)仙台ひと・まち交流財団子ども育成課 課長 後藤敬二
第3分科会 大沢児童館・市民センター 館長 佐藤正道
第4分科会 虹の丘児童センター 主任 渡邊由貴

3 総 評 (一財)児童健全育成推進財団事務局長 依田秀任 氏

4 閉 会

【主催者問い合わせ先】

(公財) 仙台ひと・まち交流財団 子ども育成課
〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-12-1
TEL 022-268-5079 FAX 022-225-2791
E-mail kodomo04@hm-sendai.jp
HP <http://www.hm-sendai.jp/jidoukan/>



本日のフォーラムのご感想・ご意見・ご要望等を上記メールアドレスまたはサイト内お問い合わせページ入力フォームより承ります。